



日本スクーバ協会からのお願い

2013年1月

ダイビング器材のオーバーホールについて

日本スクーバ協会は消費者の皆さまへ、ダイビング器材、特にレギュレーターの定期的なオーバーホールを推奨しております。

オーバーホールはご購入になられた小売店にご依頼ください。

オーバーホールはメーカーの技術講習を受け、各メーカーの認定を受けている技術者にて行われなければなりません。

日本スクーバ協会は、消費者の皆さまご自身が、ご自分のレギュレーターが認定を取得している技術者によってオーバーホールが施されているかを、必ず小売店に確認されることを強くお勧めします。

小売店の中には、技術認定を受けた技術者が在籍しないため、メーカーに直接依頼したり、オーバーホールの専門業者に依頼したりして、外注先に作業を委託するところがあります。

この場合、依頼先がメーカーであれば安全ですが、外注先がオーバーホールの専門業者である場合は、その業者がメーカーの技術認定を受けているかどうか、消費者の皆さまは小売店に確認してください。

残念ながら、市場の中には純正パーツを使用していなかったり、指定のOリングを使用しなかったり、さらにはメーカーの技術認定を取得せずにオーバーホール業務をしている悪質な業者が存在しています。

レギュレーターはダイビング器材の中でも、皆さまの安全を守るために、特に重要な器材です。日本スクーバ協会は、消費者の皆さまが適切なオーバーホールを受け、安全にダイビングを楽しまれることを強く願っております。

